

アドバテックスレーザー 治療説明・同意書

- 1) 2種類の波長(589nm、1319nm)のレーザーを照射することで、赤み、ニキビの抑制、肌のハリ、毛穴の引き締め、小じわの改善などを目的とする治療です。
2～4週に1度の間隔で、3～5回の施術を1クールとして推奨しております。
治療効果には個人差があり、際立った改善が見られない場合もあります。
- 2) 589nm レーザーは、お顔にジェルを塗布してから照射します。照射中はほんのり温かい程度の体感ですが、赤みやニキビの炎症が強い箇所、シミの濃い部分を照射する際は、チクチクとした微弱な痛みが生じます。
1319nm レーザーは、ジェルやお顔の水分をすべて拭き取ってから照射します。こちらはほんのり温かい程度の体感が続きます。
- 3) 治療後は肌が極度に乾燥したような『ごわつき』が出ます。ローション等で保湿をすることで、翌日には解消されます。赤みや軽い浮腫みが出ることがありますが、通常の場合、1日程度で改善します。
肌が乾燥している方は、皮剥けが起きることがあります。通常の場合1～3日でおさまります。
シミや黒子に反応し、一時的に色が濃くなり瘡蓋を作ることがあります。3～7日程度で瘡蓋が剥がれ、その後色素が薄くなります。ニキビや傷跡に照射した場合、一時的に炎症がひどくなったように見える場合がありますが、1～3日程度でおさまります。点状出血や熱作用による膨疹が起きる場合があります。3～7日程度でおさまります。痒み強い場合はクリニックへご連絡ください。
稀に肌色のトーンダウンや色素沈着が起きる場合がありますが、2～4週間程度で改善します。
通常の場合腫れはほとんどありませんが、翌日になっても真っ赤に腫れていたり、部分的に火傷の症状が疑われるような場合はすぐにご連絡ください。
- 4) 治療後当日から、洗顔、入浴、メイクが可能です（長時間の入浴は控えください）。角質除去剤やスクラブの使用、美白化粧品（レチノール、AHA 含有）の使用は1週間程度控えてください。治療期間中は日焼け止めと保湿剤を使用する必要があります。施術部位に赤みや腫れがある場合は、激しい運動、過度の飲酒、サウナ、入浴など体を熱する行為は控えください。
- 5) 経過をみる目的で写真を撮影させていただきます。写真に関しては厳重に保管し、患者様との経過観察以外で無断使用することはありません。

[施術・治療の副作用や併発症（免責）]

- 1) 施術・治療には副作用や併発症（ざ瘡、毛囊炎、点状出血、感染症、紅斑、水疱、瘢痕形成、色素脱失、長期の色素沈着等）が発生する可能性がございます。あらかじめご理解・ご同意ください。
- 2) 副作用や併発症が発生した場合には、状態の写真を撮影のうえで、当該写真のご送付とともに速やかに当院までご連絡ください。当院の指示に従い、診察が必要と判断された場合にはご来院ください。
- 3) 副作用や併発症が発生した場合の、当院における副作用や併発症に関する治療費については次のとおりです。
 - ・当院に過失が認められない場合：ご本人の負担
 - ・当院に過失が認められる場合：当院の負担（ただし、施術日から1週間以内に、状態の写真のご送付及びご連絡をいただけない場合や、当院のご指示にしたがっていただけない場合には、ご本人の負担となります。）
 - ・当院に故意又は重過失が認められる場合：当院の負担

以上の内容に付き、納得理解しましたので、治療を受けることに同意いたします。